

I 「安全基本計画」の策定に際しての課題認識

「安全基本計画」（以下「本計画」という）は、福知山線列車事故（以下「福知山線事故」という）後の安全性向上に向けた取り組みの中での未達成の課題や、安全諮問委員会における提言、ならびに安全推進有識者会議における安全性向上策の方向性についての提言などをふまえ、当社として取り組むべき安全上の課題を明らかにした上で、到達目標を定め、それに至る取り組みをとりまとめたものです。

なお、航空・鉄道事故調査委員会の調査報告書（以下「調査報告書」という）における数多くのご指摘については、これを厳粛に受け止め、真摯にかつ迅速に改善策を講じていきます。

ここではまず、当社の考える安全性向上にむけた課題認識と、本計画への反映の考え方について示します。

1 本計画に反映すべき「安全性向上計画」の残された課題

「安全性向上計画」は、二度と福知山線事故のような重大事故を発生させないことを目的に、私たちが2年10ヵ月にわたって推進したものです。

多くの項目で進捗が見られる一方、いまだ道半ばという状態にある「風土・価値観の変革」など、安全性向上のために継続して取り組むべき課題も残されています。平成19年8月に行った社員意識調査の結果も踏まえて、以下の残された課題について、本計画に反映することとします。

【残された課題】	コミュニケーションの改善 報告する文化の形成 安全憲章の浸透 規程・マニュアルの改善 事故の再発防止に向けた更なる取り組み 予兆管理活動の充実 教育の充実 事故等発生時の対応に関する不安の解消 工事中案件の着実な推進 ATS整備などの保安度向上への取り組み 鉄道設備全般の更なる信頼性向上
-----------------	--

なお、「安全性向上計画」を推進する過程において設置した安全諮問委員会から、今後当社が安全性をより向上するために検討すべき視点として提言された以下の項目についても、本計画に反映することとします。

【検討すべき視点】	専門家、技術に支えられる安全 ヒューマンファクターの視点を取り入れた安全 現場力に支えられる安全 地域社会・お客様とともに築く安全 チームワーク・コミュニケーションに支えられる安全
------------------	--

2 調査報告書における指摘事項

調査報告書において、当社が改善すべき多くの指摘が示されました。当社は、この調査報告書を厳粛に受け止め、数多くの指摘事項について速やかに対処することとし、既に一部について、改善の取り組みに着手しました。

今後、これら指摘事項について、真摯にかつ迅速に改善策を講じていきます。

3 調査報告書からの重い教訓

当社は、調査報告書の数々の指摘事項について、一つひとつ着実に取り組むとともに、安全管理体制の構築など組織的、構造的な課題と捉えて対処すべきものと認識しました。

一方で、福知山線事故以前、曲線における大幅な速度超過による脱線事故の危険認識がなく、鉄道施設の変更を行う際には、法令・基準を遵守することが安全を担保するものと考えてきました。

しかしながら、事実として福知山線事故を惹き起こしてしまったことから、「過去に発生した事故への対応を主体とする安全対策から脱却し、法令の遵守はもとより、安全（危険）に対する感度を高め、法令の精神をふまえたより高い安全レベルを追求するなど、先手の安全対策を講じることが必要である」との認識を持つに至りました。

4 福知山線事故後に発生した不具合事象における課題

福知山線事故の後にも、次々に安全に関する不具合事象が発生しました。ATS-Pのデータ誤設定、分岐器速度制限標識間違い、運転規制通告ミス連続発生、下り勾配における制限速度の指導誤りなどです。

これらの原因には、保守台帳類の転記ミスなどもありますが、共通するところは部門間連携やコミュニケーションの齟齬によるものであり、「安全性向上計画」の残された課題と符合するものです。本計画において、引き続き、改善を目指した取り組みを強化します。

以上のような課題認識に立ち、本計画を策定することとしました。

本計画の策定に際しては、その内容をより客観性の高いものとするとともに、将来を見据えた幅広いご意見もいただきたいとの観点から、様々な分野の専門家7名から構成される安全推進有識者会議（以下「有識者会議」という）を昨年9月に設置しました。

有識者会議は、約半年間にわたり現場の実態把握や意見交換を行った上で、当社として考える安全性向上に関する方向性を充実していただき、また新たな視点での提言をいただきました。

本計画はこれをふまえるとともに、社内における幅広い検討や労使間における議論を通じて具体化した計画です。

計画期間となる今後5ヵ年の取り組みを通じて、より高い安全を追求し、本計画に示す到達目標を達成すべく全力を傾注してまいります。